



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 KNT-CTホールディングス株式会社
 コード番号 9726 URL <https://www.kntcthd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 昭正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 伊藤 浩一 TEL 03-5325-8522
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	323,841	1.0	4,148	36.9	4,425	35.1	2,573	△1.1
31年3月期第3四半期	320,722	0.8	3,031	△29.0	3,275	△25.0	2,600	2.8

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 2,624百万円 (△11.2%) 31年3月期第3四半期 2,955百万円 (5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	94.17	—
31年3月期第3四半期	95.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第3四半期	140,509	29,573	21.0	1,079.98
31年3月期	141,479	26,950	19.0	983.82

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 29,508百万円 31年3月期 26,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2年3月期	—	0.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 令和2年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	422,500	2.6	3,500	38.2	3,600	27.0	2,000	56.4	73.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期3Q	27,331,013株	31年3月期	27,331,013株
② 期末自己株式数	2年3月期3Q	7,749株	31年3月期	7,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期3Q	27,323,541株	31年3月期3Q	27,324,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかな回復基調のもと企業収益や雇用・所得環境の改善が見られましたが、米中貿易摩擦等による国際経済の減速懸念もあり、先行きの不透明感が増す展開となりました。

旅行業界におきましては、海外旅行は、改元に伴うゴールデンウィークの連休長期化を受け、ハワイ、欧州などを中心に比較的好調に推移しましたが、国内旅行は台風19号等の影響により東北、関東など多くの方面で前年を下回る状況となりました。一方、訪日旅行については、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」もあり欧米や豪州からの観光客が増加し、拡大基調を維持しました。

このような情勢のもと、当社グループは、2020年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの一体化を推進し、会員顧客のさらなる増加、商品力の強化とWeb販売の拡大に注力するとともに、団体旅行事業の一層の強化に努めました。

国内旅行におきましては、2019年7月から近畿日本ツーリストおよびクラブツーリズムで東京2020オリンピック公式観戦ツアーの販売を開始したほか、開会式の会場となるオリンピックスタジアムの建設風景を見学できるツアーなど次第に高まる東京2020オリンピック・パラリンピック機運に応えるツアーを実施いたしました。また、女性に人気のオンラインゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」とコラボした福岡市博物館「侍～もののふの美の系譜～」特別展ツアーや世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群をセスナ機で眺望するツアーなど新たな需要を掘り起こす話題性あるツアーを催行いたしました。

海外旅行におきましては、テレビアニメ「BANANA FISH」および「ジョジョの奇妙な冒険」それぞれのゆかりの地を訪ねる旅行をアメリカ、イタリアで実施しファンから高い評価を受けたほか、主としてシニア女性を対象とした大人のプチ留学体験ツアーを催行するなど、独自性・テーマ性に富んだツアーを数多く実施いたしました。

また、訪日旅行においては、「G20大阪サミット2019」や「ラグビーワールドカップ2019日本大会」関係者の宿泊・輸送関係業務を取り扱うなど、MICE (Meeting、Incentive、Convention・Congress、Event・Exhibition) を中心に団体旅行の取扱いを拡大いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、台風19号等の影響を受け秋のトップシーズンの需要が減退したものの、ゴールデンウィーク期間中の個人旅行商品の取扱いが寄与し、3,238億41百万円（前年同期比1.0%増）、連結営業利益は41億48百万円（前年同期比36.9%増）、連結経常利益は44億25百万円（前年同期比35.1%増）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に連結子会社間の合併に伴う税負担の軽減効果がありましたため、25億73百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、流動資産で主に預け金や旅行前払金が増加した一方で、現金及び預金や受取手形及び営業未収金が減少したことにより4億45百万円（0.4%）の減少、固定資産で主に無形固定資産が増加した一方で、繰延税金資産が減少したことにより5億25百万円（2.6%）の減少となった結果、9億70百万円（0.7%）減少し1,405億9百万円（前連結会計年度末は1,414億79百万円）となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ、流動負債で主に預り金が増加した一方で、営業未払金や旅行券等が減少したことにより33億70百万円（3.0%）の減少、固定負債で主に旅行券等引換引当金が減少したことにより2億24百万円（6.8%）の減少となった結果、35億94百万円（3.1%）減少し1,109億35百万円（前連結会計年度末は1,145億29百万円）となりました。

また、純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ26億23百万円（9.7%）増加し295億73百万円（前連結会計年度末は269億50百万円）となりました。

この結果、自己資本比率は21.0%で前連結会計年度末から2.0ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績予想を踏まえ、現時点において、通期の連結業績予想につきましては、令和元年10月23日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した予想数値に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,598	16,407
預け金	50,749	55,759
受取手形及び営業未収金	26,722	21,391
商品	19	15
旅行前払金	19,467	23,387
その他	3,988	4,127
貸倒引当金	△24	△13
流動資産合計	121,521	121,075
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	786	724
土地	135	135
その他（純額）	512	589
有形固定資産合計	1,434	1,450
無形固定資産		
その他	2,267	3,044
無形固定資産合計	2,267	3,044
投資その他の資産		
投資有価証券	5,673	5,534
退職給付に係る資産	1,736	1,696
繰延税金資産	3,262	2,082
その他	5,957	5,971
貸倒引当金	△373	△346
投資その他の資産合計	16,256	14,938
固定資産合計	19,958	19,433
資産合計	141,479	140,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	22,167	19,641
未払金	6,709	5,549
未払法人税等	234	250
預り金	17,561	19,644
旅行券等	18,327	16,815
旅行前受金	42,364	43,353
賞与引当金	2,434	1,296
その他	1,426	1,303
流動負債合計	111,224	107,854
固定負債		
旅行券等引換引当金	990	851
その他	2,314	2,229
固定負債合計	3,305	3,080
負債合計	114,529	110,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,041	8,041
資本剰余金	7,204	7,204
利益剰余金	9,010	11,583
自己株式	△12	△12
株主資本合計	24,244	26,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,994	1,916
繰延ヘッジ損益	△65	205
為替換算調整勘定	249	194
退職給付に係る調整累計額	459	375
その他の包括利益累計額合計	2,637	2,691
非支配株主持分	68	65
純資産合計	26,950	29,573
負債純資産合計	141,479	140,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	320,722	323,841
売上原価	265,905	266,010
売上総利益	54,816	57,830
販売費及び一般管理費	51,785	53,681
営業利益	3,031	4,148
営業外収益		
受取利息	155	173
受取配当金	60	71
為替差益	—	7
持分法による投資利益	32	16
その他	75	61
営業外収益合計	323	329
営業外費用		
支払利息	46	46
為替差損	30	—
その他	3	6
営業外費用合計	79	53
経常利益	3,275	4,425
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2	69
減損損失	8	64
固定資産除却損	41	10
事業構造改革関連費用	163	—
その他	3	—
特別損失合計	219	144
税金等調整前四半期純利益	3,067	4,280
法人税、住民税及び事業税	315	582
法人税等調整額	156	1,129
法人税等合計	471	1,711
四半期純利益	2,595	2,569
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,600	2,573

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)
四半期純利益	2,595	2,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△77
繰延ヘッジ損益	339	271
為替換算調整勘定	18	△54
退職給付に係る調整額	△62	△83
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	359	55
四半期包括利益	2,955	2,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,960	2,627
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)
当社グループは「旅行業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)
当社グループは「旅行業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。